

事務事業名	市道霞町野竹線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	道路改良G	課長名	松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	内田貴宏	電話番号	0854-40-1063
	目的	対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:140:0:3	大事業名	市道道路整備事業
	目的	対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。		
				1:015:0:3	中事業名	起債道路整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R2 年度～ R9 年度)	本路線は掛合町多根地区にあり国道54号の多根トンネル広島方面側出口から、三刀屋川の潜水橋を渡り多根交流センター付近へ通ずる路線である。 増水時には潜水橋が通行不可となることから、本事業により行き止まりを解消する。 延長 L=200m 幅員 W=5.0m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・用地取得	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	0.0	0.0	0.0	25.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】合併特例債 (用地費) 21,960千円 (合 計) 21,960千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円	23,200	13,600	20,800	95,000	
		その他	千円					
		一般財源	千円	11,014	798	1,160	5,000	
	事業費計		千円	34,214	14,398	21,960	100,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	計画区間の工事が順調に完了し、事業が進捗している。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業の推進には、継続的な予算措置が必要となるため、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。